

# 教員による取り組み

## 【出前講座】

大学の研究成果を社会に還元する取り組みの一環として、平成13年度から実施しています。100を超える講座を設定し、教員が県内各地の公民館などに伺い、リクエストされた講座を出前開催します。

### ◆令和2年度 3講座

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、県内高校が開催する学習会のみ出前開催しました。

## 【公開講座】

地域のみなさんに生涯学習の機会を提供し、地域振興にも役立てていただくため、公開講座を開催しています。

### ◆令和元年度 15講座 参加者 943人

※令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。

## 【公開授業】

親しみやすい科目を中心に、学生と一緒に受講できるようにした授業です。

### ◆令和元年度 12授業 参加者 延べ1,983人

※令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。

## 【外国語教育研究所】

県内における外国語教育の拠点として平成13年に設立しました。県内高校生を対象としたグローバル人材育成事業・明石塾、英語コンテスト・明石杯、高等学校連携英語授業などを実施しています。また、海外事業展開をしている県内企業でのビジネス英語研修も2年目となりました。令和3年度は初の試みとして、オンラインで研究員と県内の高校生たちをつなぎ、様々なトピックについて意見を交換したり、質問し合ったりするディスカッションプログラムを始めました。

### ◆令和3年度高等学校連携英語授業 計14回

受講した高校生 延べ1,075名

## 【群馬学センター】

群馬に関する「知の拠点」を目指して、平成21年に誕生しました。年に数回開催している群馬学連続シンポジウムは40回を数え、参加者は累計15,800人となっています。郷土史家萩原進氏の蔵書を中心に約6,500冊の群馬関連の図書を公開しています。

### ◆令和3年度群馬学連続シンポジウム(オンライン) 2回実施

参加者 193人

## 【地域日本語教育センター】

外国人への日本語教育、日本語教育を担う人材の育成、生活日本語の研究や教授法、教材等の開発、関係機関との連携などの授業を行っています。

### ◆令和3年度地域日本語教育講演会(オンライン) 参加者 94人

(参考) 地域・社会連携(公開講座等): <https://www.gpwu.ac.jp/ext/>  
 附属機関の活動: <https://www.gpwu.ac.jp/org/>

## 【審議会・委員等】

群馬県立高等学校学校評議員/群馬県まちづくりマネジメントチーム委員/群馬県教育者協議会/群馬県創業支援連携会連携委員/群馬県スポーツ推進審議会委員/群馬県地方労働審議会委員/群馬県市町村振興協会評議員/前橋市社会教育委員/前橋市コンプライアンス推進委員会専門委員/富岡市立美術館評議員/みどり市まちしごと・ひと創生総合戦略検証委員会委員/柏市(千葉県)文化財保護委員会委員/玉村町公民館運営審議会副委員長/たまむらの風景フォトコンテスト実行委員会副会長/エフエムぐんま放送番組審議会委員/など

「2021 地域・社会貢献活動報告書 群馬県立女子大学」2022年3月発行 印刷:東京カラー印刷  
 公立大学法人 群馬県立女子大学 〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1 TEL 0270-65-8511(代表) FAX 0270-65-9538



公開講座



公開授業



外国語教育研究所



群馬学センター



地域日本語教育センター



# 群馬県立女子大学

# 2021

## 地域・社会貢献活動報告書



# GUNMA PREFECTURAL WOMEN'S UNIVERSITY

# 学生による取り組み

※新型コロナウイルス感染予防のため、活動の一部を自粛している取り組みもあります。

# GUNMA PREFECTURAL WOMEN'S UNIVERSITY

国文学科 英米文化学科 美術美術史学科

国文学科

美術美術史学科

国際コミュニケーション学部

## 近隣の中学校での放課後学習教室の支援



地域の中学校などで運営されている放課後学習教室に教職を目指す学生が向かい、中学生の自学自習の支援を行っています。学生たちは中学生の皆さんの学びを支えながら、教えることの体験を通じて、「先生への道」を歩んでいます。

国際コミュニケーション学部

国文学科 英米文化学科 美術美術史学科

国文学科

美術美術史学科

美術美術史学科

美術美術史学科

## なるほど!「絹ラボ」



世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」研究助成を受けて、活動しています。その名も「絹ラボ」。私たちの研究テーマは、「養蚕ことばにおける方言分布の形成過程と養蚕業の展開」です。養蚕ことばの方言分布地図を、歴史と重ね合わせて解釈しています。

## 病院内アートプロジェクト



院内でデザインが必要な部分を改善する地域連携のプロジェクトです。今年度は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種待機室の壁面に葉書を使ったモザイクアートをデザインしました。その葉書は持ち帰る事ができ、久しく会えない方達へ葉書を使ってメッセージを送る事ができる「コト」のデザインを提案しました。

## 英語お話し会のボランティア



国際コミュニケーション学部1年生の4名が、玉村町立図書館主催のハロウィーン英語お話し会にボランティアで参加しました。英語の本を日本語に訳し、Pronunciationの授業で学んだ発音を活かして、ALTの先生と両言語で絵本の読み聞かせをしました。

## 産学連携で社会的課題に取り組む



「国際経済学ゼミナール」では、太陽電池株式会社との産学連携プロジェクトで環境問題や地域活性化などの社会的課題に取り組んでいます。R&Dセンターを訪問して、先端技術開発の見学や女性社員への聞き取りを行い、解決プランの提案に結びつけました。

美術美術史学科

## 「学校現場でICT教育実践」プロジェクト



玉村町の小中学校で、ICT機器を用いた電子教材による授業を展開している。そこに本学の学生が補助スタッフとして参加し、授業のサポートを行っている。

美術美術史学科

## さばたんさい 佐羽波斎研究会



江戸中期、日本屈指の書家であり、同時に日本有数の書人となつたが、忘れられた漢詩人、佐羽波斎(さばたんさい)の作品の全訳に携わり、彼が生活した郷土の歴史を究明するとともに、東京、横浜、箱根等に残された各地の足跡も辿る。

美術美術史学科

## デザインマッチング



デザインゼミ生と県内企業のマッチング授業を10年前から実施。2021年度は、「だるま製作企業との干支だま」、「インスタント食品メーカーとのパッケージ」をデザインしました。学生たちは、企業との複数回の打ち合わせ、アドイスを経てデザイン制作を進め、最終的には学生らしい斬新なアイデアを形にすることができました。

美術美術史学科

## 中之条ビエンナーレ2021に参加



アートマネジメントゼミが国際芸術祭の町長アートプロジェクトに参加しました。作品名は「勝手に中之条 空想ステキ発信プロジェクト」で、コロナ禍に於いて社会活動が制限される中、中之条町を学内でリサーチし、魅力的だと感じるスポットや施設を紹介するパネルを展示しました。

美術美術史学科

## 玉村町第二保育所でワークショップ



「絵画4(影画)」の課題の1つとして12年間、玉村町第二保育所の年長(5、6歳)を対象に、ワークショップを実施しています。学外の違う世代との交流は、自己の創作活動や地域との連携にもつながっています。

美術美術史学科

## 芸術の現場へ3



本学の所在する玉村町で地域の皆さんと協力しながらライブイベントの企画と運営を行っています。2021年度は、玉村八幡宮の神楽殿をお借りして実施。犬の着ぐるみでオルガンを弾くJON(犬)さん、民謡アーティストの中野しもんさん他にご出演頂き、楽しい時間を作り上げました。

## 伊勢崎スケートセンタープロジェクト



12年間続いているアートプロジェクトです。施設各所に壁画を制作。また毎年違うテーマのクイズ企画を絵画ゼミ生が考案。2021年度は「旅行」をテーマにマスクケース、トートバックをデザインし、参加者全員と抽選で当たるプレゼントを実施しました。

美術美術史学科

## 県庁2階県民センターとのコラボレーション



県庁2階の県民センターの「インレット」シンボルマーク「インテリア」「サイン」などをリニューアルするデザインプロジェクトです。今年度は手始めに「インレット」をデザインしました。学生らしい斬新やかで楽しさあふれるデザインに仕上がりました。来年度以降も引き続きリニューアルを進めていく予定です。

美術美術史学科

## ベイシアスポーツ伊勢崎店との地域連携プロジェクト



伊勢崎のベイシアスポーツクラブとの地域連携プロジェクト。ヨガ、ストレッチ、エアロなどを担当する、個性豊かなインストラクター30名のキャラクターデザインを絵画ゼミが制作し、様々な活用、展開がされています。

美術美術史学科

## 第一生命の社会貢献活動に協力しました



絵画ゼミは小中学校の夏休みの宿題ポスター制作をサポートするツールを作成し、まとめた冊子を配布しました。また、アートマネジメントゼミは、12月にクリスマスラフワークショップを実施しました。

美術美術史学科

## 美術館でワークショップ 富岡市立美術館との連携事業



「アートマネジメント演習1」の授業では、子どもを対象としたワークショップを企画し、4つのプログラムを富岡市立美術館で実施しました。感染防止対策を徹底し、シミュレーションを臨むうえで、多くの親子連れに楽しんでいただくことができました。

美術美術史学科